

10 HIGH LIGHTS

ルアンパバーンの見どころ

1 旧市街の町並み World Heritage Town

のんびりとした雰囲気が漂う旧市街には、ヨーロッパの町並みを彷彿とさせるコロニアル様式の建物が並び、おしゃれなカフェやレストランが軒を連ねる。

2 早朝の托鉢 Morning Alms Giving

毎朝5時半から行われる托鉢は、アジアの仏教国の中でも最大規模を誇る。地元の人々は通り歩く僧侶の列に、もち米やお菓子などを喜捨する。

3 国立博物館 Luang Prabang National Museum

旧王宮を利用した館内には、ランサン王国時代の調度品などが展示されている。庭内の黄金色の祠には、町の名前の由来となった「パバーン仏」が納められている。

4 ワット・シェントーン Vat Xieng Thong

1560年にセタティラート王によって建てられた寺院。ルアンパバーン様式と呼ばれる、低く流れるようなラインの屋根が優雅なシルエットを作り出している。

5 プーシーの丘 Phou Si Hill

328段の階段を登った頂上からは、自然豊かなルアンパバーンの町が一望できる。夕暮れ時には、メコン川に沈む夕日を鑑賞する人で賑わう。丘の中腹の涅槃像も見どころ。

6 クアンシーの滝 Kuang Si Waterfall

中心地から約50分の場所にある、ラオスで一番美しいと言われる滝。石灰岩が作り出すエメラルド色の滝壺では泳ぐことができる。園内にはクマの保護センターが併設されている。



7 セー滝 Tad Sae Waterfall

「タート・セー」の名で親しまれる滝は、7月末から11月の雨季后半に楽しめる。その美しさは、クアンシーの滝を凌ぐとも言われ、水中でゾウ乗り体験ができる。



8 パクウー洞窟 Pak Ou Cave (Tam Ting)

メコン川沿いの岩肌にある洞窟には、合計4000体もの仏像が納められている。道中では、ラオス焼酎で有名なサンハイ村に立ち寄ることができる。



9 ナイトマーケット Night Market

毎晩17~22時にメインストリートで開催。ラオス北部の伝統的な織物や、少数民族の雑貨、食材など、ラオスならではの商品が手に入る。お土産を選ぶのにも最適。



10 伝統工芸の村 Handycraft Villages

町の近郊には伝統工芸品を生産する村が点在している。ラオス織物のシェンレック村、パノム村、紙漉き和紙のサンコーン村、ラオス焼酎のサンハイ村が有名。



イベント カレンダー

※日程の詳細は観光局の公式サイトでご確認ください。

4月 ラオス正月 (ピーマイ・ラオ)



7日間つづくお正月のお祭り。町のいたる場所で水掛けが行われる。元旦には約5000人が参加するパレードが開催される。

5月 ロケット祭り



ルアンパバーン郊外の村で行われる、雨季のはじまりの雨乞いのお祭り。約100基のロケットが大空へ飛び立つ。

7月 入安居 (カオバンサー)



僧侶たちの3か月におよぶ修行期間の初日。メインストリート、小道、寺院の境内などで、通常よりも大規模な托鉢が行われる。

9月 ボート祭り



ラオス各地で行われるレースの中でも最大規模。川に住むとされるナーガ(蛇の神)に、五穀豊穡や無病息災を祈願する。

10月 出安居 (オークバンサー)



雨季の終わりのお祭り。町中がランタンの灯で幻想的になる。最終日には、灯籠流しや火を灯したボートのパレードが行われる。

12月 カム族 お正月 モン族



ルアンパバーンに暮らす少数民族のお正月祭り。民族衣装や求婚の儀式、伝統舞踊など、貴重な文化に触れることができる。